

購読の申し込みは
日本医労連へ

購読料 年間1,500円(送料込)
(組合員の購読料は組合費に含む)

送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296
郵便振替00160-6-84866

ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>
電子メール n-ask@irouren.or.jp

医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

第1881号 2026年 8月27日

編集・発行
日本医療労働組合連合会
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5
日本医療労働会館3階 TEL03(3875)5871
発行 毎月2・4木曜日

(昭和36年9月15日)
(第三種郵便物認可)

ヒロシマから核なき世界へ
原水爆禁止世界大会2026



8月4日〜6日に「原水爆禁止2026世界大会」が広島市で開催されました。5日に分科会を挟みながら、4日の開会総会は、オンラインも含めて3200人、6日の閉会総会は3400人の参加で、核兵器のない平和で公正な世界を実現するために、被爆者とともに、声と行動を広げていく決意を固めました。

核なき世界へ展望を

4日の開会総会では、被爆者、国内外の各団体の代表らが集い、核兵器のない世界への展望を切りひらこうと訴えました。

富田宏治国際会議宣言起草委員長が主催者報告を行い、「被爆者の訴えに耳を傾け、人類を破局から救うために緊急に行動しなければならぬ」と述べました。

日本被団協の箕牧智之代表委員は「戦争は国家が起して、国民が犠牲になる」とし、核兵器廃絶と恒久平和の実現を呼びかけました。

オーストラリア政府代表は、「被爆者の役割は何ものにも代えがたい」と強調し、核兵器禁止条約にすべての国が加盟するよう呼びかけました。

平和の学びを深める

5日はフォーラムと15の分科会が開催され、核兵器廃絶、労働運動の課題と果たす役割、日本とアジアの非核平和など、多彩なテーマで活発に交流しました。

夜には「日本医労連産別交流会」を行い、3全国組合、8県医労連、韓国の労働組合から62人が参加しました。広島県原水協代表理事の高橋信雄さんが「あの日ここで被爆の実相を学ぶ」と題して講演しました。(左下別掲)

参加者からは「平和は誰かが守るものではなく、一人ひとりが関心を持ち、行動し続けることで築かれる」「たった一つの原爆が無差別に命を絶ち、81年もの間人々の心を傷め続けた。二度と起こしてはけない」との感想が寄せられました。夕方には、相生橋で「反核平和ペンライト行動」が行なわれました。

核兵器のない未来へ

6日のヒロシマデー集会には、国連、各国政府、国内外の団体、被爆者、高校生らが参加しました。国連の中満泉軍縮担当上級代表は、「核兵器の使用は破壊へと直行する道だ」と指摘し、核兵器の完全な廃絶を追求する努力を続けると表明しました。メキシコ政府代表も「核兵器の完全廃絶に代わる現実的な選択肢はない」と強調しました。日本女医会の前田佳子会長は「医学が進歩しても核戦争に対応できる医療はない」と核兵器廃絶を訴え、被爆者、高校生らも核兵器のない未来を求めました。

『あの日』で被爆の実相を学ぶ

高橋さんは、広島に投下された原爆が、普通の爆弾とはまったく異なる兵器であることを説明し、「原爆は大量無差別殺戮兵器と語りました。わずか1万分の1秒で莫大なエネルギーを放出し、熱線と爆風で街を破壊、多くの市民を無差別に殺傷した実相を伝えました。

熱線で焼かれた皮膚はボロ切れのように垂れ下がり、建物は爆風で崩壊。その後、街は大火災に包まれました。生き延びた人も、放射線による障害や長期にわたる健康被害、深い心の傷を抱えて生きることになりました。

また、約1万人が運び込まれた二ノ島の臨時野戦病院では、医薬品も医療者も不足し、被爆者を救うことができませんでした。病院や交通、通信、水や食料など、社会の基盤そのものが破壊されたためです。

高橋さんは「原爆医療が成り立つとしたら、被爆者を作らないことでしか成り立たない」と医師の言葉を紹介します。

「広島・長崎を繰り返し襲った核兵器は人を殺傷するだけでなく、医療そのものを成り立たなくする兵器だと強調しました。

「広島・長崎を繰り返し襲った核兵器は人を殺傷するだけでなく、医療そのものを成り立たなくする兵器だと強調しました。

高橋さんは「原爆医療が成り立つとしたら、被爆者を作らないことでしか成り立たない」と医師の言葉を紹介します。

「広島・長崎を繰り返し襲った核兵器は人を殺傷するだけでなく、医療そのものを成り立たなくする兵器だと強調しました。

「広島・長崎を繰り返し襲った核兵器は人を殺傷するだけでなく、医療そのものを成り立たなくする兵器だと強調しました。



地域から病院がなくなる。2回目となる「病床数適正化緊急支援事業」の申請が締め切り、8月末には都道府県が取りまとめ、厚労省へ提出する。病床削減1床につき410万4千円(病床は205万2千円)が支給される。京都では2000床以上が削減されるという。これで本当にいいのか▼日本郵政から譲り受けた京都新町病院が、2026年3月、103年の歴史に幕を下ろした。日本郵政と約束した3年を守ったらしいが、元事務局長は「事業は順調に回復。これからという時に廃院。他法人に譲渡して事業継続ならわかるが、自分のために使うのは許せない」と語り、裁判、行政、医療関係団体へと奔走した。彼を突き動かしたのは、病院を頼る地域の人、患者さんだったのではないだろうか▼その記憶も冷めないうちに始まった国の事業。府内の病院などを訪問した6月のキャラバンでは、病院から「診療報酬が物価や人件費の上昇に追いつかない」「設備更新や建て替えもできないし、お金も貸してくれない」と苦境が語られた。だからといって、お金と引き換えに、地域住民のいのちと健康を守る病床を削っていくのか。新町病院の元事務局長の言葉が刺さる。コロナ禍入院できず自宅で亡くなった人々を思い出す。熱中症で倒れる人を思う。「酷暑日」が正式な予報用語となったこの夏、改めて問いたい。



「医療労働者」発行変更のお知らせ

日頃より日本医労連の活動ならびに機関紙「医療労働者」の発行にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

1877号でお知らせした機関紙「医療労働者」の発行形態について、下記の通り詳細が決定したのでお知らせいたします。

記

1. 変更内容

【現行】月2回発行 タブロイド判4面 年間購読料：1,500円

【変更後】月1回発行 タブロイド判2面 年間購読料：1,000円

〈紙面イメージ〉

1面：産別の運動方針や各地の取り組み内容等、脈路

2面：各地の取り組み内容、医労連共済コーナー、クロスワード、読者のページ等

2. 実施時期

2026年9月発行 1882号より

脈路

地域から病院がなくなる。2回目となる「病床数適正化緊急支援事業」の申請が締め切り、8月末には都道府県が取りまとめ、厚労省へ提出する。病床削減1床につき410万4千円(病床は205万2千円)が支給される。京都では2000床以上が削減されるという。これで本当にいいのか▼日本郵政から譲り受けた京都新町病院が、2026年3月、103年の歴史に幕を下ろした。日本郵政と約束した3年を守ったらしいが、元事務局長は「事業は順調に回復。これからという時に廃院。他法人に譲渡して事業継続ならわかるが、自分のために使うのは許せない」と語り、裁判、行政、医療関係団体へと奔走した。彼を突き動かしたのは、病院を頼る地域の人、患者さんだったのではないだろうか▼その記憶も冷めないうちに始まった国の事業。府内の病院などを訪問した6月のキャラバンでは、病院から「診療報酬が物価や人件費の上昇に追いつかない」「設備更新や建て替えもできないし、お金も貸してくれない」と苦境が語られた。だからといって、お金と引き換えに、地域住民のいのちと健康を守る病床を削っていくのか。新町病院の元事務局長の言葉が刺さる。コロナ禍入院できず自宅で亡くなった人々を思い出す。熱中症で倒れる人を思う。「酷暑日」が正式な予報用語となったこの夏、改めて問いたい。

新介護署名で社会変革を

目標は今年度50万筆！今秋25万筆！



「新・介護署名」のキックオフ集会は、全国から現地のオンライン合わせて417人が参加し、医労連の加盟組織からも多く参加しました。集会では全日本民医連の林泰樹さんら、「介護保険をめぐり、介護者・新介護請願署名のボスト」について学習会が行われました。林さんは介

7月28日、中央社保協・全日本民医連・全労連の呼びかけで、「新・介護署名」のキックオフ集会がオンライン開催されました。

「新・介護署名」のキックオフ集会は、全国から現地のオンライン合わせて417人が参加し、医労連の加盟組織からも多く参加しました。集会では全日本民医連の林泰樹さんら、「介護保険をめぐり、介護者・新介護請願署名のボスト」について学習会が行われました。林さんは介

【介護改善3本柱】

- ①介護報酬の大幅引上げ
- ②抜本的な介護人材の確保
- ③介護3大改悪の阻止

【介護改善行動6つの柱】

- ①請願行動に集中する
- ②大規模宣伝に打って出る
- ③厚労省（審議会）を包囲する
- ④自治体に介護要求を届ける
- ⑤学びを力に学習運動を強化する
- ⑥介護改善大運動の共同を広げる



新・介護署名

月間スケジュール

10月
不払い労働根絶・年休取得促進月間
10月～11月
母性保護月間
10月～12月
秋の組織拡大月間
11月
介護を良くするアクション月間

昨年の統一行動の様子



11月4日 回答指定日
11月5日 26秋闘統一行動日
(ストライキを含む各種産別統一行動実施)
11月11日～12日 日本医労連中央行動
(国会議員要請、対政府要請)



昨年の中央行動の様子

第17回地域医療を守る運動全国交流集会

日にち 11月23日(月・祝)
会場 平和と労働センター・全労連会館
2階ホール(オンライン併用)

スタート行動 9月5日～6日

START

昨年のキャラバン行動の様子



目的

- 1、ケア労働者が国民のいのちをまもる担い手として相応しい、他産業とも見劣りしない賃金水準を獲得し、人手不足の解消と長時間労働の規制をめざす
- 2、憲法改悪・戦争する国づくり阻止、社会保障の充実で安全・安心の医療・介護の実現
- 3、キャラバン行動を通じて組織の強化・拡大につなげる

折り返し 地点

2026年度 共済推進全国交流集会

日にち 10月18日(日)～19日(月)
会場 兵庫県・姫路キャッスルグランヴィリオ
(詳細:発015号)

もう待てない！平和と社会保障を立て直せ！ 10.29いのちまもる総行動

日にち 10月29日(木)集会13:30～ パレード14:50～
会場 上野恩賜公園野外ステージ
スローガン

- ① ケア労働者の大幅増員・大幅賃上げ、報酬の緊急大幅引き上げを！
- ② 医療介護負担増反対！医療・介護保険制度改悪阻止！
- ③ 医療・介護・福祉・保健の現場を守れ！
- ④ ミサイルよりケアを、軍事より社会保障の拡充に予算をまわせ！
(詳細:発021号)

26秋闘宣伝グッズ

日本医労連ホームページ「宣伝物」よりダウンロードできます
<https://x.gd/nt4nV>



2026年秋

9月

2年目

夜勤規制と大幅増員をめざす アクションプラン意思統一集会

日にち 9月14日(月)14:00～16:00
開催方法 完全オンライン
参加対象 日本医労連に加盟する全ての組合員
集会内容(予定)
・2年目の取り組み提起
・分散討論
・各組織の実践の共有・質疑
・まとめ&閉会
○参加登録 ※締切9/7(月)
<https://x.gd/bqVa7>
ID:813 4242 2416 パスコード:260914
(詳細:発009号)



10月

10月23日 26秋闘要求提出 期限・スト権確立

最重点行動

- ◎「報酬10%以上の引き上げを求める」取り組み
(取り組み期間10月未まで)
- ☆安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、医療・介護・障害福祉等報酬のさらなる引き上げを求める請願・陳情、自治体請願・陳情(都道府県議会を最優先に請願・陳情を行います)
- ☆医療・介護・福祉を守る政府の財源措置を求める団体署名(団体署名)
- ☆ケア労働者の更なる処遇改善を求める署名(個人署名・オンライン署名)
- ☆国会議員賛同署名(26春闘からの継続の取り組み)
- ◎夜勤規制・大幅増員の取り組み
- ☆「夜勤規制と大幅増員をめざすアクションプラン」と運動した取り組みを意識します
- ☆9月14日の「アクションプラン意思統一集会」に参加し、運動の目的を共有し実践します

職場での取り組み

- ☆団体署名や個人署名・オンライン署名に、集約目標をもって取り組みます
- ☆26秋闘職場要求書に生活改善のための年末一時金の獲得、大幅増員、夜勤改善の要求を盛り込み提出します
- ☆「夜勤規制と大幅増員をめざすアクションプラン」に運動させた取り組みの推進
- ☆「夜勤規制・大幅増員署名」の取り組み
- ☆組織拡大の取り組み

もう限界！

ケア労働者の大幅賃上げを
いのちまもるキャラバン行動

「言いたい劇場」 小菅りや子



「2026年度 共済推進全国交流集会」のご案内

日本医労連共済は、1990年1月の発足以来、仲間を増やし、組合員とその家族の助け合い制度として継続しています。近年の新興感染症や度重なる風水害・震災などで、日々の暮らしに対する備えが重要になっています。

本集会では、医労連共済の目的や意義を改めて共有し、参加者同士の経験交流を通して共済推進に関する意思統一を行います。

日程：10月18日14時～19日12時
会場：兵庫県姫路市三左衛門堀西の町210
姫路キャスルグランヴィリオ

スケジュール（予定）：

- 〈1日目〉
 - ◇開会
 - ◇基調報告・特別報告
 - ◇新システム移行に関する説明
 - ◇共済加入推進説明会をおこなうにあたってのポイント
 - ◇夕食交流会・表彰式
- 〈2日目〉
 - ◇分散会
 - ◇全体会（まとめ）
 - ◇閉会

申込〆切：9月25日
※定員250名に達した時点で締切とします
問い合わせ先：共済事務局 0120-160-931
※詳細は発第015号をご参照ください。

【パズル解答】1877号の答えは「セキランウン」でした。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。
【応募方法】①組合（病院）名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を10/8（木）までにご応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。
【応募先】〒110-0013 台東区入谷1-9-5
「日本医労連教育宣伝局」
FAX：03-3875-6270
E-mail：kyosen@irouren.or.jp



後まで行進することが出来た。 (京都・鞆岡風真)
●平和の大切さを感じる今日この頃。新聞記事もしっかり読み込んでいます。

(茨城・saiyu)

●最近の新聞を知らなくなり、医療労働者にまつわる現状や意見を丁寧にまとめたくださる記事は、医療従事者としての自分の現在地を知ることができ参考になっています。 (北海道・ほっけ)

(新潟・しょうちゃん)

●最近の趣味は登山です。しかし熊の出現で思うように登山に行けていません。安心して

て登山に行けるよう願っています。 (秋田・匿名)
●夜勤もして自分の命削って働いても賃金安くて生活が苦しいです。 (新潟・ARMY)
●腰椎すべり症で腰痛に悩まされています。腰痛予防体操を毎日してみようと考えてます。 (福島・ひまわり)
●昔はワンコインで買った物が、今では倍以上の値段。物価が高いので、以前に比べ外食も減りました。 (長野・そら豆)

■ヨコのカギ

- 1 ハチミツも……品
- 4 胸に三日月の形の白いもようがある……熊
- 7 木の枝にぶらさがって生活する動物
- 9 ……のたけのこ
- 10 十人十……
- 11 漢詩に節をつけて歌う
- 12 遊びに使う丸い球
- 14 気温40度以上は……日
- 16 郵便・電話・パソコンなどで情報を伝えます
- 18 自分の家
- 20 生の魚介類の代表料理
- 21 夏に聞く……時雨
- 23 ……草の別名は螢草
- 24 インド洋の台風
- 26 数や点数を数えること
- 27 牛や豚の上肉や赤身



- 25 24 22 20 19 17 15 13 11 8 6 5 4 3 2 1
- タテのカギ
- 1 稲光とも言います
 - 2 8月の祝日は……の日
 - 3 長方形のことです
 - 4 牛にあつて馬にはない
 - 5 基幹的……従事者は40年間で約7割減少
 - 6 手押し車
 - 7 どうきびともいいます
 - 8 ライオンのことです
 - 9 この日から秋です
 - 10 煙でいぶした保存食品
 - 11 7月の第3月曜日は……の日
 - 12 中国語「机会」の意味
 - 13 すり傷は……傷
 - 14 極めて小さいもの
 - 15 童謡「……の秋」
 - 16 最も低いギアは……

38期「共済キャンペーン」の活用を

- 第76回定期大会で承認されました、「共済キャンペーン」についてお知らせいたします。
- 単組・支部の助成**
- ①共済説明会に年6回の助成
 - ②共済説明会で複数の組合員が新規加入した場合、説明会を行った単組・支部へ記念品贈呈
 - ③自動車共済の説明会に年6回の助成
 - ④組織一律共済の加入を検討した単組・支部に助成
 - ⑤説明会で講師をした担当者、役員に準備支援として助成
- 医労連共済だより**
- ⑥新歓での共済プレゼントへの助成
 - ⑦新規加入者へ共済新規加入に対しての助成
 - ⑧自動車共済見積りキャンペーン
 - ⑨継続キャンペーン
- 申請について**
- 詳細は医労連共済発文字書1527号にて、ご確認ください。すべて申請が必要となります。
- 申請書は発文字書の添付、もしくは医労連共済のホームページからダウンロードできます。ぜひ、ご活用ください。

医療の眼

日本医労連は、第76回定期大会（7月21日～23日）において、「憲法改悪と軍事力拡大に反対し、平和・民主主義・くらしを守る特別決議」を確認しました。

日本国憲法交付80年

今年、日本国憲法は交付から80年という大きな節目を迎えます。戦争によって多くのいのちが奪われた痛切な反省から生まれたこの憲法は、戦後日本の平和とくらしを支える土台であり続けてきました。しかし、その土台が大きく揺さぶられています。

改憲を求める勢力は、9条への自衛隊明記や、緊急事態条項の創設を掲げ、国会での改憲発議に向けた動きを強めています。ひとたび緊急事態条項が発動されれば、時の政権の判断だけで国民の権利や自由が大きく制限されかねません。憲法審査会での議論も加速しており、私たちが声を上げなければ、なし崩し的に改憲へと進みかねない情勢です。

社会保障の抑制膨らむ防衛費

物価高騰が続くなか、医療・介護・福祉の現場

憲法守り、活かす行動いまこそ

は深刻な人手不足と低賃金をあえいでいます。夜勤や、過重労働は一向に改善されず、患者・利用者には十分なケアを届けたくても届けられない。休憩もままならず、心身をすり減らしながら働いている仲間も少なくないはず。慢性的な人手不足で、多忙な業務をこなす中、やりがいすらなくなり、医療・介護現場を去る仲間も残念ながら増えています。

そういった状況にもかかわらず、政府は防衛費を倍加し、さらなる防衛増大を行おうとしています。いのちを守るべき医療・介護の現場が疲弊する一方で、防衛費（軍事費）だけが際限なく膨らんでいく。くらしといのちを守る現場が置き去りにされたまま軍拡だけが進む、この矛盾に、私たちは声を上げなければなりません。

一つ一つ積み重ね大きなうねりにしよう

日本医労連は、平和活動の原点として「ふたたび白衣を戦場の血で汚さない」というスローガンを掲げてきました。戦争は最大の人權侵害であり、最大の環境破壊であり、そして最大の公衆衛生の破壊です。

私たち医療・介護・福祉に働く者は、いのちを救い、くらしを支えるこ

とを仕事としています。だからこそ、戦争への道を否定し、憲法9条を守り抜く責任があります。「白衣を再び戦場の血で汚さないために、職場から地域から、私たちにできることを一つひとつ積み重ねていきましょう。その具体的な第一歩が、現在取り組まれている「9条を変えさせない署名」です。一筆一筆は重ければ大きな世論となり、改憲発議の動きに歯止めをかける力になります。職場で、地域で、家族や友人に語りかけ、署名を広げていきましょう。学習会やスタンディング行動、憲法集会への参加、そして仲間同士で情勢を語り合うことも、平和を守る大切な一歩です。

平和憲法は、黙っているだけでは自然に守られるものではないかもしれません。80年間続いてきた「戦争をしない国」という誓いを、次の世代へ引き継ぐかどうかは、今を生きる私たち一人ひとりの行動にかかっています。

憲法を守り、活かす。そのために今こそ、職場や、地域から、ともに声を上げ、行動を起こしましょう。一人ひとりの署名と行動が、平和な未来への確かな一歩となります。

山崎 世理